

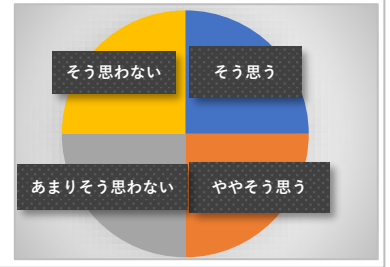
# 令和6年度 新城小学校 学校アンケート 集計結果

## 《学校教育目標》

- 健康でたくましい子の育成
- よく考え進んで行動する子の育成
- 仲良く助け合う子の育成
- 開かれた学校づくり

## 《資料の見方》

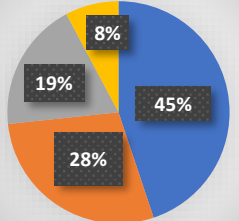
- 「児」は児童、「保」は保護者。
- 保護者のみ「わからない」を設定。
- 数値の単位は%。未回答は含まず。



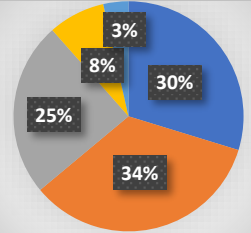
## 健康でたくましい子の育成

1

児：授業や休み時間などに進んで体を動かしていますか。

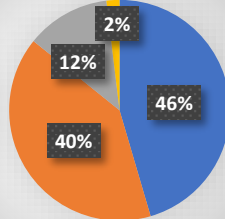


保：おさんは、授業や休み時間を通して外遊びや運動などを十分に行っている様子ですか。

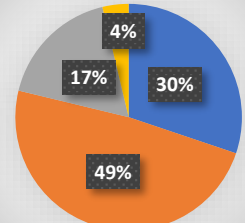


2

児：手洗いをしたり、好き嫌いをしないで食べたりして、健康に気を付けて生活していますか。

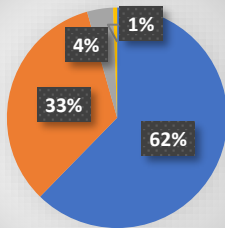


保：おさんは、手洗いをする、好き嫌いをなく食べるという意識を持っていますか。

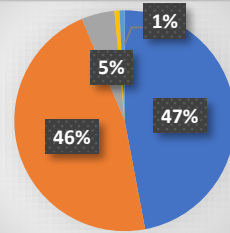


3

児：学校のきまりや交通ルールを守って、安全に気を付けて生活していますか。

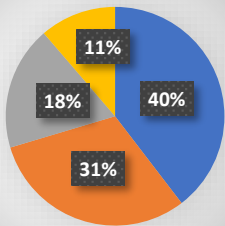


保：いろいろな状況を想定した避難訓練・防犯訓練や安全指導・交通安全教室などを行ってきました。そうした意識はお子さんの中に育っていますか。

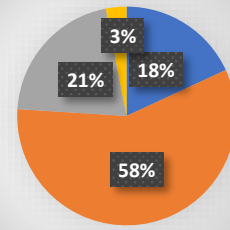


4

児：不安なことや悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できていますか。

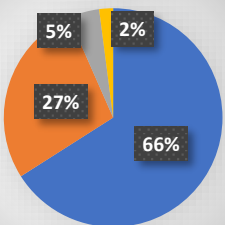


保：「すぐに人に頼るのではなく工夫したり、努力したりして、自分の力で乗り越えていける子」の育成に向けて指導・支援を行っています。そうした意識はお子さんの中に育っていますか。

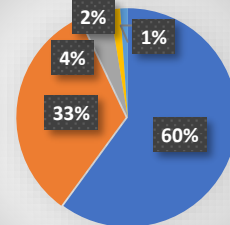


5

児：学校生活は楽しいですか。



保：おさんは学校生活を楽しんでる様子ですか。



## 《健康でたくましい子の育成 考察》

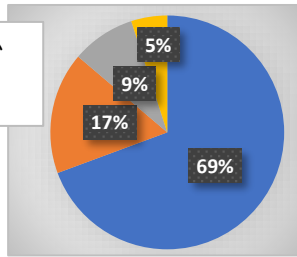
「学校生活は楽しいですか」について、児童・保護者共に90%以上が肯定的な回答をしていて、「楽しい」と感じている児童が多いようですが、ストレスや悩みに対して相談できていないと感じている子が、約30%いるようです。相談しやすい雰囲気を作っていけるように、努力していきます。冬にアンケートをとったこともあり、体を動かそうと意識している児童は、約70%にとどまっています。外遊びをする児童は偏っているようなので、キラキラタイムや学級活動で体を動かす機会を積極的に作っていききたいと思います。

健康に対する意識は、約80%が肯定的な回答をしています。今後も委員会活動を活性化や栄養士による栄養指導を続けていきたいと思います。

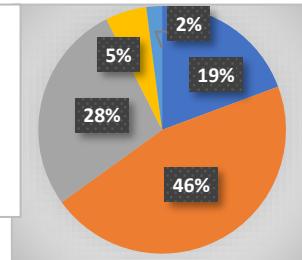
# よく考え進んで行動する子の育成

1

児：将来の夢や目標をもっていますか。

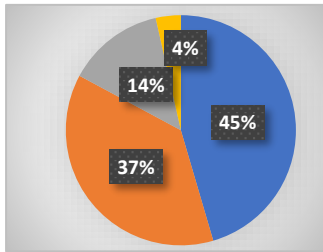


保：将来の夢や目標をもてるように「キャリア在り方生き方教育」の充実を図ってきました。将来の夢や目標についてご家庭で話していますか。

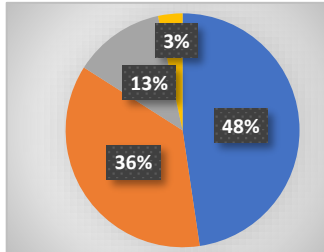


2

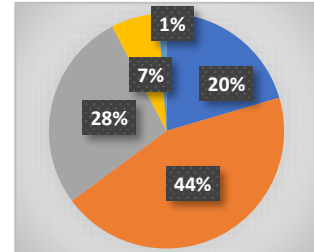
児：授業中は、しっかりと自分の考えをもったり、進んで伝えたりしていますか。



児：分からないことはそのままにせず、自分で復習したり、誰かに聞いたりして分かるようにしていますか。

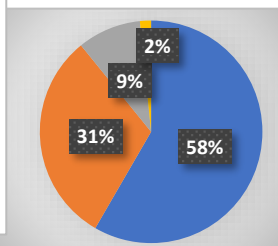


保：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて考えを広げたり深めたりする学習に力を入れています。お子さんは意欲的に学習に取り組んだり、自ら学習課題を解決しようとしていたりしていますか。

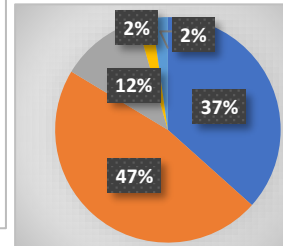


3

児：係活動、当番活動（日直や給食）、実行委員、学校の行事、たてわり活動で、進んで行動したり新しいことに挑戦しようとしていましたか。



保：係・学校行事・たてわりなどの活動において、子どもの自主的、創造的な活動を促す取組みをしています。お子さんは自ら考え、進んで行動したり、新しい考えや物を創り出そうとしていますか。



## 《よく考え進んで行動する子の育成 考察》

児童は将来の夢や希望についての設問では肯定的な意見が多く、前向きに希望をもって生活できている様子が伺えました。一方、家庭では児童との差が大きく、家庭での見取りの難しさを感じられました。家庭で将来の夢や希望についての話をする機会はあるものの、その他の話題と比べると少ないだけでも考えられます。また昨年度の設問内容の方が肯定的な意見が多かったので再検討が必要だと感じました。

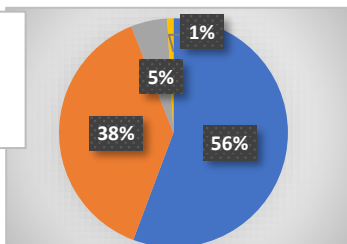
授業への取り組み方については、児童は肯定的な意見が多く、能動的に授業を受けていると感じていました。しかし、ここでも保護者には「主体的・対話的で深い学び」が実現できているという回答が少なく、家庭ではその様子が感じられていないことが分かりました。家庭学習を嫌がっている姿などを目にするとう欲的とは答えられなかったのかもしれませんが。児童があまり必要感をもって家庭学習に取り組んでいないのであれば、家庭学習をどう考えるかについて、今後学校や家庭、地域で思案していくときなのかもしれません。また学習に楽しさを見出し、主体的に取り組んでいる姿を保護者に見てもらうことも必要だと感じました。そこで授業参観では各学級で自分の考えをもち、話し合うような授業を見てもらうようにしたいと思います。

特別活動についての設問では、児童も保護者も肯定的な意見が多く、特別活動で子どもたちは力を発揮できている実感があることが分かりました。実際にいろいろな活動をしているので、保護者にはもっと発信ができるとよいか感じました。

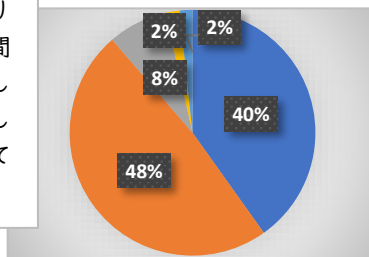
# 仲良く助け合う子の育成

1

児：相手の気持ちを考えながらやさしく接していますか。

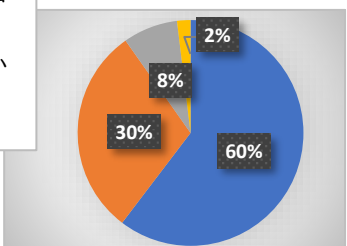


保：人権尊重教育の充実を図りながら、優しい心、温かい人間関係づくりを大切にしてきました。お子さんは人に対して優しい言葉づかいや心配りができていますか。

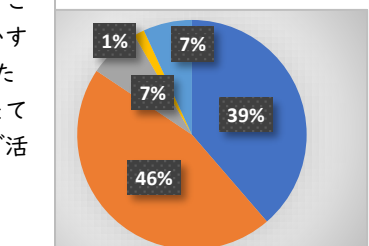


2

児：たてわり活動では、自分のできることを考えて色々な学年の人と遊んでいますか。

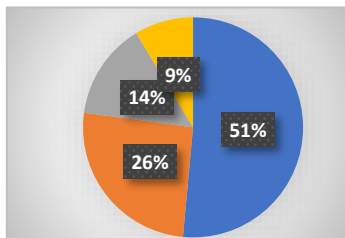


保：たてわり活動では、異学年との関わりを大切にするとともに自主性や協調性を育てています。この活動を日々の学校生活で生かすことができていますか。 ※「たてわり活動」とは、定期的なたてわり活動、委員会活動、クラブ活動などのことです。

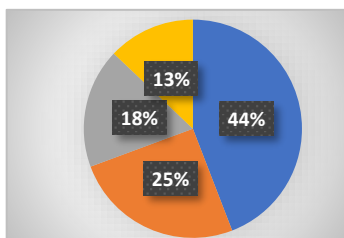


3

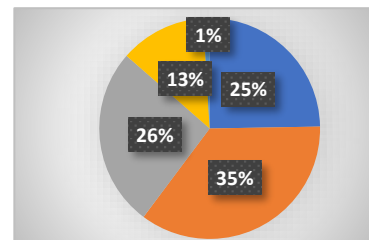
児：本を読んだり本でもらったりするのは好きですか。



児：進んで本を読んでいますか。

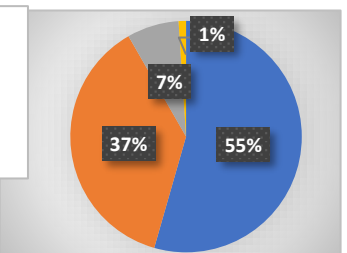


保：学校では、生き方を考えるために、読書活動に取り組んでいます。お子さんは、読書や音読に進んで取り組んでいますか。

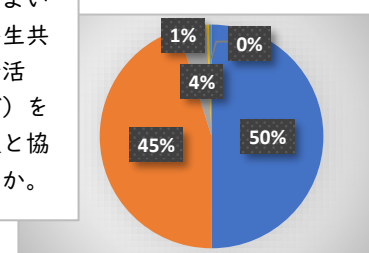


4

児：学校や学級がよりよくなるように、友達と協力して活動していますか。



保：どの子にとっても居心地のよい学級集団づくりを目指して、共生共育をはじめとした取組（児童会活動、係・当番活動、係活動など）を行っています。お子さんは友達と協力して活動していると思いますか。



## 《仲良く助け合う子の育成 考察》

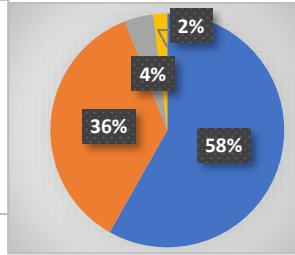
学校生活での人との関わり合いに対する設問では、肯定的な回答が多く見られました。活動を通して相手の気持ちを受け止めながら、友達や他学年の児童と関わり合っていることが伝わります。引き続き、たてわり活動などの関わり合いの機会を積極的に設けようとするとともに、協働的な学びのよさを実感できる授業の取組や共生・共育や人権尊重教育の充実を図っていきます。

読書に対する設問では、「本を読むのが好き」の肯定的な回答よりも、「進んで本を読んでいる」の肯定的な回答の割合が低くなっています。読書活動を好意的に感じているので、自ら読書に取り組む環境づくりを、学校やご家庭でともに取り組む機会を設けていきたいと思います。

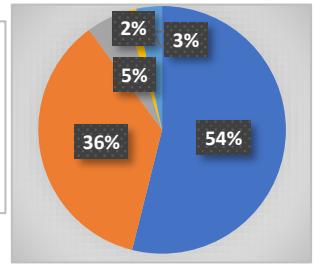
## 開かれた学校づくり

1

児：学校や「新城」のまちについて学習してきました。学習を通じて、学校や地域のことを知ることができましたか。

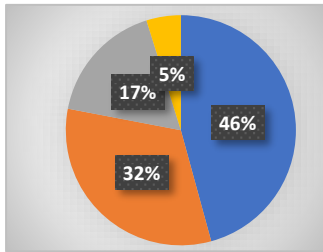


保：「新城」のまちのよさを生かした学びを作ることを大事にしてきました。お子さんが学習した様子は伝わりましたか。

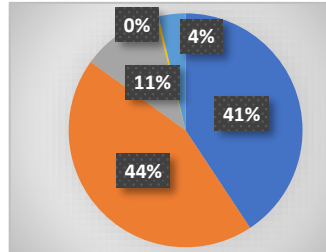


2

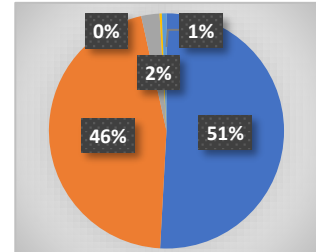
児：子どもが地域に対する愛着や感謝の気持ちをもつ学習活動をつくるように努力しています。こうした様子は伝わっていますか。



保：子どもが地域に対する愛着や感謝の気持ちをもつ学習活動をつくるように努力しています。こうした様子は伝わっていますか。



保：学校では、授業参観、運動会、個人面談、学校説明会などを行ったり、地域の方と学習を行ったりして開かれた学校を目指してきました。取り組みの様子は伝わっていましたか。



### 《開かれた学校づくり 考察》

生活科や総合的な学習の時間に、新城のまちのよさに気づき、地域とのつながりを大切にすることを意識し、学習を進めてきました。2月には、新城SDGsランドでは、保護者の方や地域の皆様に学習したことを発表しました。身近な課題について考えることは、校内研究のテーマでもあり、90%以上の児童・保護者が肯定的な回答をしていることから、成果が感じられます。

授業参観や運動会等の際は、マナーを守ってくださる方が多く、感謝致しております。授業は、基本的にいつでも参観することができます。ぜひお気軽にお越しください。